

交換留学募集説明

10月31日（金）

16:30-18:00

国際教育センター



2026年8月～10月開始の交換留学：

募集中：～12月4日24:00

「交換留学にかかる特例制度（3年後期実験科目）」公開中



予約

[留学相談予約](#)



[留学情報配信登録](#)

交換留学とは

交換留学とは、本学に在籍したまま協定校に半年間または1年間留学することです。協定校の授業を履修し、単位を取得します。取得した単位は本学の単位として認定することができます。ほとんどの協定校では、英語で授業が開講されています。その他の言語（中国語、独語、仏語など）で授業を受けられる協定校もあります。



留学スケジュール

協定校の学期に合わせて半年または1年間。原則として学域2年次以上から留学可能



単位認定

学域生は60単位まで、大学院生は4単位まで認定可能
留年を避けたい学域生は特例制度又はGLTPが可能

I・II・III類で学域3年後期の
実験科目（必修）について特例
あり。



必要な語学力

あらかじめある程度の語学力が必要。英語の場合は原則CEFR B2以上（IELTS 5.5等）
中国語圏等では、語学学習のみを目的とした留学が可能な場合も

交換留学のメリット

正規授業 の履修

- 協定校の正規授業を履修できる
- 現地の学生及び留学生と一緒に受講
- 留学生対象の特別な授業がある場合も
- 単位認定制度

サポート が充実

- 留学前手続きのサポート
- 宿舍の斡旋（ない場合も）
- 現地でのオリエンテーション・交流プログラム

費用面 奨学金

- 協定校の授業料は不要
- 給付型（返還不要）奨学金を受けられる可能性

留年なし で 留学可能

- 3年生後期の実験授業における「特例制度」（詳細は次ページ）

注目!

交換留学の「**特例制度**」って？（学域）

※詳しくは[国際教育センターWEBページ](#)参照

「卒業研究着手審査」において必須とされる

3年後期の実験科目（必修）について、

- ① 翌年（4年生）履修で**卒業研究着手審査を特例合格**とする
(4年生で履修する必要がある)
- ② 留学中に実験科目（必修）を**遠隔オンライン**で履修
- ③ 留学先での実験科目（必修） **類似授業による単位互換**

結果として3年後期の半年間の交換留学が可能

4年間での卒業を前提に、交換留学するために… (学域)

- 卒業研究着手審査のその他の基準は変更なし
[学修要覧](#)を熟読しておくこと
- 実質的に3.5年でほぼ全ての卒業単位を揃える (結構大変。計画的に)
- 3年後期に交換留学に参加するには、2年後期 (10-12月) の募集に応募
→ 2年後期 (12月) の時点で語学力要件をクリアする必要
- まずは相談！
 - ① [海外学生交流コーディネーター](#)
 - ② [各類型学生支援担任の先生方](#)
 - ③ [各類型教育委員の先生方](#) ※2024URL：毎年委員とURLが変わります
- 就職活動のスケジュールも十分に考慮 (大学院に進学しない方)

「**大学院**」で交換留学？

指導教員と十分に事前準備ができれば、

- 修了要件の単位が少ないので、（学域に比べて）スケジュールははるかに柔軟（M1の5月から翌年2月までの留学等、就活に影響しないスケジュールも可能）
- 留学中に輪講（ゼミ）の単位を取得可能（なこともある）
- 交換留学中に修士論文の研究を進めることも可能（なこともある）
- 語学力を準備する時間が取れる

結果として交換留学しながら、修士2年間で修了も可能（なこともある）

協定校の例（授業料相互不徴収）

詳細は募集要項を参照

国・地域	大学	国・地域	大学
アメリカ	オクラホマ大学	中国	ハルビン工程大学
デンマーク	ロスキレ大学	中国	北京郵電大学
ドイツ	ブレーメン大学	中国	中国科学技術大学
ポーランド	ポズナン工科大学 NEW!	台湾	淡江大学
スウェーデン	ブレーキング工科大学	台湾	国立陽明交通大学
フランス	オルレアン大学工学部	韓国	昌原大学
オーストラリア	ウーロンゴン大学	タイ	キングモンクト工科大学ラカバン校
メキシコ	メキシコ国立工科大学	タイ	キングモンクト工科大学トンブリ校

留学先の選び方



教育内容

授業は何語で開講されている？履修したい科目はある？



協定校の特徴

理工系大学or総合大学、国際的評価、日本人学生の多寡など



国・地域の魅力

人口、英語通用度、産業、歴史文化、治安、気候など



費用も要確認

情報収集の方法

- ✓ 学内外の説明会
- ✓ 留学関連ウェブサイト
- ✓ 留学経験者や留学生に聞く
- ✓ 留学体験談・報告書

どの程度の語学力が必要？

英語の場合、原則としてCEFR B2

CEFR B2=IELTS5.5, TOEFL iBT 72, Duolingo 100

※TOEICは一部の大学でのみ有効

協定校(例)	IELTS (アカデミック)	TOEFL iBT	Duolingo	TOEIC LR
オクラホマ大学(米国)	6.0	61	90	不可
ヨーロッパ協定校	5.5	一部は61 他は72以上	100	785 ロスキレ大学 780 オルレアン大学
ウーロンゴン大学 (オーストラリア)	6.0	79	不可	不可

【注意】 IELTS(25,000-27,500円)、TOEFL iBT(195USD：30,000円程度)と受験料は大変に高額で、受験にはパスポートが必要です。

TOEICやDuolingoでOKなら、TOEICやDuolingoで。
ダメならIELTSがお勧めです。 [詳しくはこちら](#)

交換留学の募集・選考

今回

募集時期	秋募集（10月前後）	春募集（4月前後） ※二次募集的な位置づけ
留学開始	翌年8～10月	翌年1～3月
締切	12月初旬頃	7月初旬頃
選考（面接等）	1-2月頃	7-8月頃
結果通知	3月頃	9月頃

学内選考基準：学業成績・語学力・意欲等で総合的に評価

学内選考倍率は今のところあまり高くはありません。ただし相手大学の人数制限のため第一希望に留学できない人はいます。第三希望まで申請することを奨励します。

一部の協定校を紹介します

米国 オクラホマ大学



1890年創立の**州立総合研究大学**。カーネギー分類では**最上級の研究大学(R1)**として評価されています。スポーツの強豪校としても知られ、8万人以上を収容するスタジアムが置かれるなど活気に溢れるキャンパス。

所在地	オクラホマ州ノーマン
学期	秋学期 8月中旬～12月 春学期 1月～5月
言語	英語
語学力等	Duolingo 90, IELTS 6.0, TOEFL iBT 61
宿舎	キャンパス内
履修	他分野も履修可能
その他	募集枠は、各年度原則1名（半年留学の場合2名） ワクチン必須（麻疹・風疹・おたふくかぜ・B型肝炎） 現地指定医療保険あり

1月からの留学はスケジュール的に難しい



コペンハーゲンから30分程度のロスキレに位置する**文理融合大学**。自然豊かで美しい街並とキャンパス。**TOEIC LRで留学可能**。座学・講義より実践的なPBL形式の授業が非常に多い。

所在地	ロスキレ
学期	秋学期 9月1日～1月31日 春学期 2月1日～6月30日
言語	英語（またはデンマーク語）
語学力等	TOEIC LR 785, IELTS 6.5, TOEFL iBT 80
宿舎	Campus accommodationあり。 月額3800-5200DKK
履修	英語の授業は比較的多い https://kursus.ruc.dk/
その他	募集枠は2名/年、又は4名/学期 生活費は月額8000DKK（17万円）程度

2月からの留学
はスケジュール
的に難しい

オーストラリア ウーロンゴン大学

春留学可能!



オーストラリアの最大都市シドニーから電車で1時間半程度の場所に位置する公立総合大学。海沿いの自然豊かな環境です。研究大学として評価が高く、QS世界大学ランキング2023で185位。

所在地	ウーロンゴン
学期	秋学期 7月～11月 春学期 2月20日前後～6月
言語	英語
語学力等	IELTS 6.0 (RW6.0 LS 5.0) 他 <u>GPA要件あり</u>
宿舎	寮あり
履修	他分野の履修可能。
その他	募集枠は、各年度1名 GPAスケールは電通大と異なる

7月からの留学はスケジュール的に難しい

ポーランド ポズナン工科大学

NEW!

春留学可能!

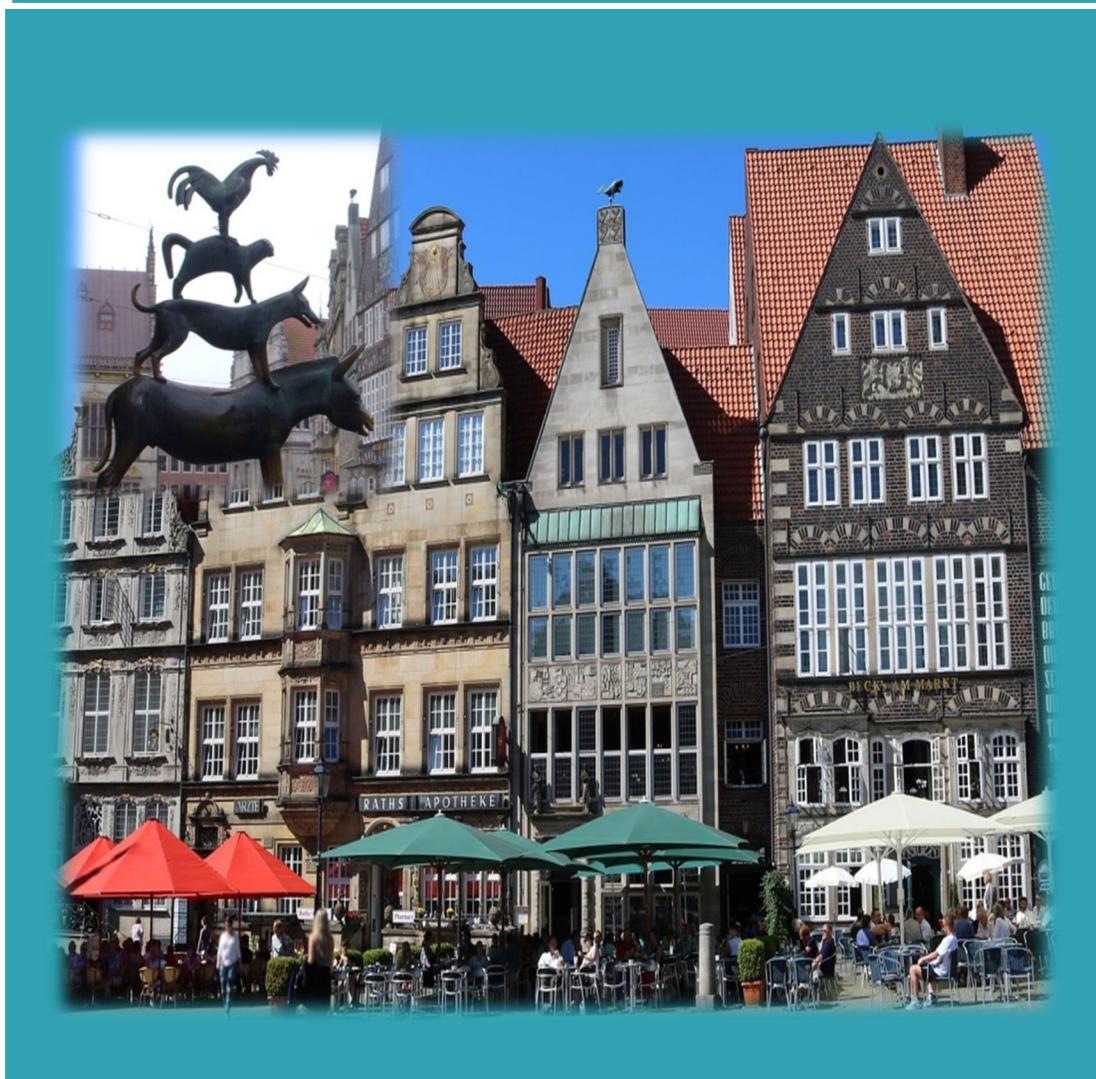


ポーランド中西部、中世ポーランド王国の首都ポズナンに位置する**工科大学**。歴史ある美しい街並が残る教育都市でもある。英語による授業が豊富で、夏学期・春学期共に留学しやすい。生活費もヨーロッパの中では安価。

所在地	ポズナン
学期	夏学期 10月1日～3月初旬 春学期 3月1日～7月初旬
言語	英語
語学力等	CEFR B2 (Duolingo100 etc.)
宿舎	学生寮利用可能
履修	こちらから検索
その他	ポーランド語授業あり 生活費が比較的安価 セメスター開始前週にオリエンテーションWeekあり

ドイツ ブレーメン大学

春留学可能!



ドイツ北部のブレーメンに位置する総合大学。旧市街地には世界遺産の美しい街並が残ります。母国語はドイツ語で、授業の一部が英語で開講されています。学域生・大学院生ともに留学のしやすい協定校です。

所在地	ブレーメン
学期	冬学期 9月中旬～2月 夏学期 3月中旬～7月
言語	英語（またはドイツ語）
語学力等	CEFR B2 (Duolingo100 etc.)
宿舎	宿舎斡旋なし 宿舎探しのサポートあり
履修	他分野も履修可能 ドイツ語短期集中コースあり
その他	募集枠は、各年度数名 現地指定医療保険あり 閉鎖口座の開設必須

台湾 淡江大学

春留学可能!



台湾で最も古い私立大学。総合大学で、国際化に積極的な大学。本学との交流も非常に活発な協定校です。

所在地	淡水
学期	秋学期 9月～1月 春学期 2月～6月
言語	中国語または英語
語学力等	HSK 3級 (中国語の場合) TOEFL iBT 61、TOEIC550 (語学力要件については応相談) GPA要件(2.0/4.0満点)
宿舎	学生寮あり
履修	他分野の履修可能。中国語レベルに応じた中国語授業も履修可能
その他	募集枠は、各年度数名

例年2月20日前後から授業開始

スウェーデン ブレーキング工科大学



スウェーデン南部の歴史ある軍港の街カールスクローナに位置する**理工系大学**。母国語はスウェーデン語ですが、スウェーデンはヨーロッパの中でも英語通用度が非常に高い国です。**日本人が極めて少ない環境**。

所在地	カールスクローナ
学期	秋学期 9月～1月 春学期 1月～6月
言語	英語（またはスウェーデン語）
語学力等	CEFR B2 (Duolingo100 etc.)
宿舎	寮なし。宿舎探しのサポートあり
履修	学域3年次以上でないと履修できない科目が多い
その他	募集枠は、各年度数名 現地保険は無料提供

1月からの留学はスケジュール的に難しい

フランス オルレアン大学 Polytechnic



パリから南西150kmに位置する歴史あるオルレアンの総合大学（1306年教皇クレメンス5世創立）。学部授業はフランス語中心。キャンパス内に湖があり、自然豊かな郊外にある。
日本人は少ない。TOEICで留学可能。

所在地	オルレアン
学期	秋学期 9月～12月 春学期 1月～5月
言語	フランス語、英語
語学力等	TOEIC 780, IELTS 5.5, TOEFL iBT 72
宿舎	大学が宿舎 or ホームステイをアレンジ可能
履修	英語科目は <u>大学院科目のみ</u>
その他	募集枠は、各年度数名 フランス語学習クラスあり (有料65EUR)

1月からの留学はスケジュール的に難しい

費用はどれくらい？（項目別） 特に記載のない場合、1年間の費用

本学授業料	通常どおり（留学中の休学不可）
往復航空券	アジア10万円 欧米20～30万円 程度
ビザ申請代	無料～数万円
海外旅行保険	年間98,430円（本学指定の学研災付帯海外留学保険） ※米・独など現地医療保険（～20万円）が必須の国に留学する場合は、 保険の組み合わせについて相談にのります。（現地保険＋数万円程度）
OSSMA（派遣留学生危機管理サービス）	年間32,670円
宿舍費	月額 3～10万円程度（アメリカ・イギリス・スイス 月額20万円程度）
食費	月額 3～10万円程度 ※自炊か外食かによる
教科書代	～2万円×科目数
交通費	宿舍の場所による（有料交通を利用する場合、1日1000円程度）
学生サービス費	アメリカ（8万円程度）、ドイツ（4万円程度）など一部の国で必要。

ビザ申請時には、**銀行残高証明**や奨学金証明書などが必要です

費用はどれくらい？（大学・国別）

国・地域・大学	総費用（※1）		JASSO奨学金		自己負担（例） （総費用-JASSO奨学金）	
	半年	1年間	半年	1年間	半年	1年間
アメリカ オクラホマ大学	180～230万円	300～350万円	66万円	132万円	114万円～	168万円～
オーストラリア ウーロンゴン大学	150～180万円	260～300万円	54万円	108万円	96万円～	152万円～
ドイツ ブレーメン大学 デンマーク ロスキレ大学 フランス オルレアン大学	120～150万円	230～260万円	66万円	132万円	54万円～	98万円～
スウェーデン ブレーキング工科大学	90～100万円	150～170万円	66万円	132万円	24万円～	17万円～
ポーランド ポズナン工科大学	70～90万円	125～150万円	54万円	108万円	16万円～	17万円～
台湾 淡江大学	65～80万円	110～140万円	48万円	96万円	17万円～	14万円～

※期間中の生活費（家賃・食費・現地交通費・雑費）、航空券代、保険代、危機管理費用を含みます。
電気通信大学に払う授業料は上記金額に含んでいませんので別途必要です。

各種奨学金制度がありますので

「（費用－奨学金）＝正味の自己負担」

主な奨学金

<給付型（返還不要）>

奨学金の状況は毎年度変わりますが、2018年度以降、成績要件を満たす希望学生全員が本奨学金を受給しています

■ JASSO海外留学支援制度奨学金

月額8～11万円 + 経済的困窮者には別途渡航支援金

成績要件：前年度GPA2.30以上（3点満点 小数点第3位を四捨五入）

{(秀の単位数×3)+(優の単位数×3)+(良の単位数×2)+(可の単位数×1)+(不可の単位数×0)} ÷ 総登録単位数

詳細はこちら（国際課） http://kokusai.office.uec.ac.jp/www/jasso_sesp/top.html

■ UEC基金による助成（JASSO奨学金対象外の場合）

■ 業務スーパージャパンドリーム財団（GPA2.5/3.0必須）

■ トビタテ！留学JAPAN（実践活動必須）

「願書」と「履修計画」について

あくまで申請時時点で、履修を希望する科目を書きます。
履修する授業数は、1学期(半年)に2-3科目程度が現実的です。1科目につき週に2回以上開講されることが一般的です。

協定校のウェブサイトに交換留学の情報がまとめられています(募集要項の協定校一覧を参照のこと。または、“大学名+exchange”等で検索)。その中に、交換留学生在が履修可能なCourse List (授業科目リスト) が掲載されています。科目によっては、前もって履修が必要な科目 (Prerequisite) が指定されていることがありますのでよく確認しましょう。

専門科目、一般教養科目の他、交換留学生を対象とした語学の授業などが設けられていることもあります。

※授業科目の探し方がわからない場合は、安西までお問合せください

実際に履修する授業の選択は、交換留学の合否が決定した後に行います (多くの協定校では現地に到着してから決めることとなりますが、一部の協定校は事前に選択します)

「志望理由書」について

指定された文字数は守りましょう。（少なすぎる記述は問題）

箇条書き不可。段落を作って論理的に文章を記述すること。

できる限り具体的に書くこと。

所属の各類・各専攻の教員が面接を行います。自分の専門分野の勉学と結び付けて書くようにしましょう（留学先で履修したい授業のこと、留学経験を本学での研究にどう生かしたいかなど）。

留学した学生の履修科目例（参考）

1 学期あたり 4～5 科目程度が理想

1 科目あたり週に 2～3 回程度授業があることが多い

オクラホマ大学（米国）
Ⅱ類セキュリティ情報学 学域3年 1年間

English for exchange student
Programming for meteorology
Programming with Python
Volcano and Earthquakes
Data Structure
Programming Structures and Abstractions
Operating system
Global Environmental Change

ブレーキング工科大学（スウェーデン）
Ⅲ類機械システム 学域3年 1年間

Introduction Swedish level
Differential Equation with Lie Group Analysis
Product Service System Design Research Method
Research Methods and design
Structural Analysis
Industrial Marketing Theory and Practice
Computational Engineering
Mathematical Statistics

留学した学生の履修科目例（参考）

ブレーメン大学（ドイツ）
II先端ロボティクス 学域3年 1年間

Intensive German course
Internet of Things
3D Modelling with FabLab Technologies
Machine Learning Autonomous Robots
International Business Environment
Who wants to live forever? Digital Death,
Mourning, and Remembrance
Tourism, Development, and Sustainability
Key Moments in the Linguistic History of the
English-Speaking World
Filmmaking
Tourism and Transnational Film

ブレーキング工科大学（スウェーデン）
学域4年 半年間

Applied Artificial Intelligence
Applied programming in Python
Applied Cloud Computing and Big Data
Mobile Application Development

情報収集に便利なサイト

JASSO海外留学支援サイト（国別留学情報他）

http://ryugaku.jasso.go.jp/oversea_info/

トビタテ！留学JAPANサイト（奨学金情報の他、留学体験などが豊富）

<https://tobitate.mext.go.jp/univ/>

外務省海外安全ホームページ（国別情報。特に治安や生活面）

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

日米教育委員会 Education USA

<https://www.fulbright.jp/study/>

駐日欧州連合代表部

https://eeas.europa.eu/delegations/japan_ja

ドイツ学術交流会(DAAD日本)

<https://www.daad.jp/ja/>

電気通信大学国際教育センター

<http://www.fedu.uec.ac.jp/studyabroad/>

電気通信大学国際課（海外旅行保険、JASSO奨学金）

<http://kokusai.office.uec.ac.jp/www/support/top.html>

http://kokusai.office.uec.ac.jp/www/jasso_sesp/top.html

交換留學Q & A

いつから留学する？

原則として留学開始時に学域2年次以上

秋募集（今回）

- ・ 留学開始時期は9月前後が一般的
学域3年・修士1年の後期から留学する学生が多い
学域2年の後期からの留学もしやすい

春募集（次回）

- ・ 一部の協定校は2月下旬～3月（本学の春休み）から留学可能
（例：オーストラリアウーロンゴン、ポーランドポズナン、ドイツブレーメン、台湾など）
秋募集で定員を満了した協定校については、募集は行いません

大学院受験、就職活動、研究室配属等にも留意すること。学域3年後期から留学する場合、研究室配属の手続きは帰国後に行うことが多いです（あらかじめ類の担当者に確認すること）。

語学力のスコアはいつまでに必要ですか

原則として学内申請時までには必要です。学内申請時までには一度は受験し、スコアを得ておいてください。

学内申請時までには所定のスコアが取れなかった場合であっても、協定校への推薦期日までに取得できる見込みがあれば、ひとまず申請は可能です。その場合は、あらかじめ国際教育センター安西までご相談ください。ただし、学内書類選考や協定校での審査に不合格になる可能性もあります。

一部の協定校では、語学学習のみを目的とした留学が可能です。その場合は語学力要件は特にはない場合もあります（台湾・中国・韓国など）。

留年はどうしてもしたくないのですが（学域生）

学士・修士一貫のGLTP（UECグローバルリーダー育成プログラム）への参加をおすすめします。2年次に申請します。本プログラムでは、4年前期に卒業研究が終了し、4年後期の半年間を使って留学することが可能です。

I類・II類・III類では3年次の必修実験科目（履修しないと卒研着手不可）について特例が設けられました。留学前に類の教員との入念な相談が必要。4年次での授業履修の負担が大きくなる可能性があります。

大学院で留学する場合は、学域に比べて、留年なしの留学はかなりハードルは低くなります。マスターで半年～1年の留学を行い2年で修了した先輩も多数います。学域は短期留学とし、授業履修・単位取得に集中するのも一つの考え方です。

研究はできますか？①

交換留学は、原則として協定校の授業を履修する制度です。但し、研究室やインターンシップ先は自分で見つける必要がありますが、例外的には授業履修と並行して研究やインターンシップ活動を行うことも可能です。

研究「のみ」を希望する場合は、協定校にこだわらず、まずは指導教員に留学先をアレンジ可能か相談してみてください。

本学の国際インターンシップ制度で研究留学ができる可能性もあります。
(担当：インターンシップ推進室)

上記の方法で留学先が見つからない場合は、海外学生交流コーディネーターまでご相談ください。

研究はできますか？②

本来、研究留学や国際インターンシップでは、受入先がビザ手続、入学手続や生活上のサポートをする必要があります。

もし、交換留学でビザ、大学受入手続、住居探し、生活費確保等がクリアされていれば、相手研究室やインターンシップ組織の受入ハードルは大きく下がるでしょう。

(来たければ来ればいいよ、くらいまでハードルが下がることもある)

(指導教員経由の研究留学や国際インターンシップのアレンジが難しい場合は)、ご相談いただければ、交換留学先の国際オフィスや研究者にコンタクトしながら、受入先を一緒に探していくことは可能です。

単位認定はどのようにされますか

協定校で取得した単位は、**学域は60単位、大学院は4単位**まで本学の単位として認定可能（申請、審査は帰国後）。本学に該当科目がない場合は、協定校の科目名で認定することも可能です。

原則として、単位認定の審査結果は、学生が申請をした学期の、**次の学期末**に出ます。なお、**協定校の単位数と本学で認定される単位数は異なる場合があります。**

単位認定に必要な資料

- ・シラバス(授業内容と時間数が記載されたもの)
- ・成績証明書

持病があるのですが、留学できますか

早めにかかりつけ医等に相談していただくことをおすすめします。

個別に状況を伺ったり、医師の診断書を提出していただくことがあります。

持病・既往症の治療は海外旅行保険の補償対象外です。

GPA要件について

一部の協定校では、GPAの基準が設けられています。GPAは下記の換算で認められる可能性があります。

日本の大学			海外の大学
S秀	4	→	4
A優	3	→	4
B良	2	→	3
C可	1	→	2
F不可	0	→	0

海外の大学院に進学する場合も、学部のGPAは重要。
左の換算で認められる可能性があります

参考：WES (World Education Services)

留学相談



国際教育センター 安西

東2号館-205

留学相談予約オンラインフォーム

<http://www.fedu.uec.ac.jp/studyabroad/soudanshitsu/StudyAbroad-booking.html>

最新情報は
国際教育センターウェブサイトを参照のこと

今回の交換留学申請締切：12月4日24:00



留学情報配信サービス